

爆撃の日:爆撃を受けた場所で

「馬町の爆撃を語ろう会」資料

主催 馬町爆撃を語ろうかい (会)
協賛 修道自治連合会

◎ 日時：平成24年1月16日(月) 午後7時30分～9時10分

ビデオの紹介 羽衣国際大学 内田知己 先生

第一部：DVD (文部科学省選定作品)：(27分)

「とどけられた遺書-語りつぐ京都の戦争-」

製作企画「届けられた遺書」共同製作委員会(京都)
羽衣国際大学 学生プロジェクト



(途中休憩:8分)

第二部：爆撃のあった日、
爆撃にあった場所で、爆撃を語ろう！

資料 東山区馬町(東山空襲)

昭和20年(1945)1月16日午後11時23分頃

死者 41人 重軽傷 56人 家屋破壊 14

1戸

※お願い：多くの方々にお話していただきたく、ご発言は
5分以内にご協力ください。

終了 :9時10分

参考資料

その他の京都市内の爆撃

◎ 右京区春日 3月19日
◎ 上京区京都御所 5月11日

◎ 右京区太秦 4月16日
◎ 上京区出水(西陣空襲)
6月26日 詳細 次ページ

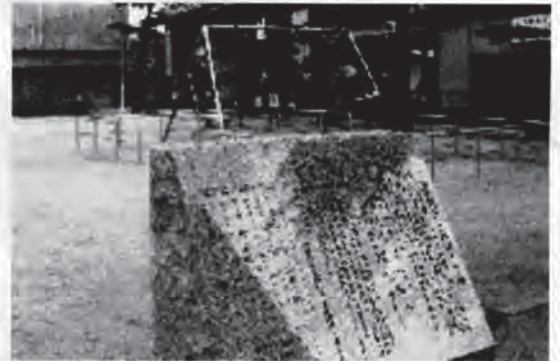
参考資料

空爆被災を記録する碑

所在地：京都市上京区下長者町通
智恵光院北東角（辰巳児童公園内）

◎上京区出水（西陣空襲）6月26日

死傷者 即死 43人 重傷 13人 軽傷 53人
計109人
被害家屋 全壊71戸 半壊 84戸一部損壊 137戸
計292戸。



報道規制 (戦中)

最初の空襲の後、厳しい報道規制が敷かれた。

警察などによる公式発表では、「一般的に被害は軽微」というだけで、被爆地の様子については詳しく触れられなかった。新聞にも被爆地については、「京都市の一部」としか示されず、多くの市民は詳しい様子を知ることが出来なかった。

「デマを飛ばすな」「流言は敵の謀略だ」「被爆地の写真撮影を禁ず」などのビラが張り出された。1月18日の京都新聞には、「一昨夜、B29一機が京都市に侵入、投弾」と報道はしていたが、被害については、「ごく軽微」とされていた。

京都市の初めての空襲であり、夜更けで警戒警報も出ないまま、突然、爆撃されたので、警察などは人々が動揺することを怖れたための報道規制だと考えられる。

(戦後)

敗戦によるアメリカ占領下の日本では、アメリカの不利になることを自由に言える状況でなかった。広島・長崎の被害、東京・大阪大空襲の無差別爆撃に対する批判も同様に語られることは少なかった。

そのため、京都は爆撃がなかったと思われ、京都に住む人たちでも、馬町爆撃や西陣爆撃を知らない人も多い。